

非稼働病床運用計画書一覧表(豊能 二次医療圏)

資料 4

	医療機関名	所在地	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	病床数	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で具体的な運用計画
1	国立病院機構 大阪刀根山医療センター	大阪府豊中市刀根山5丁目1-1	①病棟単位	26 床	平成29年3月にD3病棟の稼働を停止し、当該病棟の26床を休床としたうえで、A5病棟(34床)に機能を移転いたしました。本来、A5病棟は60床分のキャパシティを有しておりますが、人員確保や患者確保の観点から、当面の間は、D3病棟の運営体制を継続することとし、A5病棟は34床で運用することいたしました。 なお、A5病棟の空床スペースにつきましては、外来機能の一部等に活用しておりますので、非稼働病床はD3病棟26床として届出しております。	現在の非稼働病床26床につきましては、A5病棟(現在34床で運用)を60床に増床し、解消する予定としております。しかしながら、増床後の病棟運営には、医師・看護師をはじめとした医療スタッフの増員及び確保が不可欠となります。当機構では、職員定数の増員については、国立病院機構本部の承認が必要であり、当該増員要求は必ず前年度の指定された時期までに行うこととされております。 また、単年度での大幅な増員は認められないことから、向こう3年を目標に、計画的な増員を図り、概ね令和5年(2023年)4月には、必要な人員を整備のうえ、非稼働病床を再稼働することとしたいと考えております。
2	医療法人ひまわり 矢吹産婦人科庄内クリニック	大阪府豊中市庄内西町4丁目3番2号	①病棟単位	5 床	2018年初旬頃より、当直医師の確保が困難になったため。ただし、病室は現在でもたまたま使用することがあります。	紹介会社や、知人の紹介などで募集中。 3年をめどに医師の確保が出来次第、再開の予定。
3	(医)平心会 OCROMクリニック	吹田市春日4-12-11	①病棟単位	19床	・平成28年9月から ・入院を伴う臨床試験の受託がなかったため	・令和元年10月から12月については、入院を伴う治験を受託したことにより、病床は稼働している。 ・今後も入院を伴う臨床試験を受託できるよう積極的に取り組む。
4				床		
5				床		
6				床		

## 第2回豊能医療・病床懇話会結果の概要

### 1 地域医療構想の推進に関する意見

#### 【高度急性期について】

- 高度急性期と急性期の区分の定義を明確にしてほしい。
- 高度急性期機能の整備は、三次医療圏を視野に議論する必要があるのではないか。
- 豊能二次医療圏では、大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センターがすべての病床を高度急性期病床と報告しており、高度急性期病床が吹田市に集中している。吹田市以外の地域では、高度急性期病床は少なく、その点を考慮して検討するべきでないか。
- 過剰な病床への転換は機械的に認められないということではなく、地域でニーズがあれば認めるべきではないか。

#### 【小児・周産期の集約化の検討について】

- 診療科の集約という観点ではなく、病院の再編という長期的な観点の方が、地域のニーズに合っているのではないか。
- 小児周産期の体制の検討については、二次医療圏を超えての広域的な検討が必要ではないか。
- 2020年度の診療報酬改定において、総合入院体制加算の算定が、地域医療構想調整会議で承認されれば、小児科、産科、産婦人科を標榜しなくても、算定できるようになる見込み。政策誘導が出来たので、その点も含め検討が必要ではないか。

### 2 病院の将来プランに対する意見・質問等

#### (1) 公立・公的病院

なし

#### (2) その他、民間病院等に対する意見・質問等

なし

### 3 保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を希望する病院

なし

## 第2回豊能医療・病床懇話会結果の概要

### 1 地域医療構想の推進に関する意見

#### 【高度急性期について】

- 高度急性期と急性期の区分の定義を明確にしてほしい。
- 高度急性期機能の整備は、三次医療圏を視野に議論する必要があるのではないか。
- 豊能二次医療圏では、大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センターがすべての病床を高度急性期病床と報告しており、高度急性期病床が吹田市に集中している。吹田市以外の地域では、高度急性期病床は少なく、その点を考慮して検討するべきでないか。
- 過剰な病床への転換は機械的に認められないということではなく、地域でニーズがあれば認めるべきではないか。

#### 【小児・周産期の集約化の検討について】

- 診療科の集約という観点ではなく、病院の再編という長期的な観点の方が、地域のニーズに合っているのではないか。
- 小児周産期の体制の検討については、二次医療圏を超えての広域的な検討が必要ではないか。
- 2020年度の診療報酬改定において、総合入院体制加算の算定が、地域医療構想調整会議で承認されれば、小児科、産科、産婦人科を標榜しなくても、算定できるようになる見込み。政策誘導が出来たので、その点も含め検討が必要ではないか。

### 2 病院の将来プランに対する意見・質問等

#### (1) 公立・公的病院

なし

#### (2) その他、民間病院等に対する意見・質問等

なし

### 3 保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を希望する病院

なし